

医師分野テレワークモデルシステム実験

実証実験の概要

【モデル1】

在宅医師のテレワークを支援するための在宅ワーク支援システムを構築。在宅医師による専門知識を活かした医療業務支援（病歴サマリ作成、検査レポート作成支援等）を実施。

【モデル2】

出産・育児等による休業中の在宅医師の現場復帰を支援するための復帰支援システムを構築。医療情報文献和訳・要約等を通じて医療現場と最新情報に接する機会を提供。

(1) 業務過多の緩和

- ・テレワークを行う在宅医師により
医師全体の業務負担軽減に貢献

(2) 医師・看護師の離職防止

- ・出産・育児による休業中の医師の
現場復帰が可能。
- ・医師不足の解消に寄与。

(3) ワーク・ライフ・バランスの実現

- ・医療分野テレワークという在宅
医師の補助的業務支援がもたらす
医師の心身の充実

